

ふいるさとのうた

剣淵文化協会俳句部会



みかん食ふ夫を偲ひてもつひつ

旭町 宝澤 房子

子の帰省待ちたる媪冬の雨

西原町 児玉 久美子

ひとり居の急須のしずく師走くる

緑町 池田 良子

とくしの黄土に殉す冬薔薇

仲町 玉野 研一

贈らるる手袋ぬくし列句会

南桜町 宮腰 幸子

寝不足の身はひと息の寒の水

西岡町 渋谷 みさ子

菰樽の華やぐ店頭年新た

西町 金澤 頼子

深閑と音なき音や初景色

元町 印牧 安子

手鏡に生きた素顔や年新た

仲町 坂部 和子

新年の身の幸せや恙なく

元町 西崎 弘子

夫送る友の涙よ雪しまく

仲町 梅基 文子

捨て切れぬ本を戻して年暮るる

旭町 大河 博子

娘の便り紅茶を熱く雪の日に

西町 岸波 君江

寄せ鍋の湯気立つまでの長き時

西町 杉浦 とし枝

降る雪の余韻残して同期会

藤本町 鈴木 ゆき子

天災に悼む年なり年暮れる

西岡町 高瀬 久美子

朝寒に夕べの茶碗洗いつ

東町 高橋 世津子

小さき粒足裏に触れる冬の朝

西町 文梨 清子

分校の極立つ国旗大旦

おおめした

仲町 芳賀 星子